令和6年度 興南中学校 入学試験問題

1 (45 分 100 点)

<注意事項>

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙は開かないようにしてください。 解答用紙は別になっています。
- ② 問題は 【一】 ~ 【三】 まで3題あります。
- ③ 試験時間は45分です。
- ④ 解答用紙には、以下の例にならって受験番号、小学校名、氏名を必ず記入して ください。



- ⑤ 解答は解答用紙の所定のところに記入してください。
- ⑥解答は楷書で丁寧に記入してください。
- (7) 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

	_	
	_	
111411111111111111111111111111111111111	次の各問いに答えよ。答えは解答用紙に楷書で丁寧に記入せよ。な	
	なお、指示された表記方法以外で解答した場合は採点されないため	

問一 次の1~6の二重傍線について、1~3の漢字の読みを平仮名で答え、4~6のカタカナを漢字に直して答えよ。

がんばっているのに、空回りしている。

2 犯人が消息をたつ。

3 賛否を問う。

4 人口がゲンショウする。

5 合唱のシキをする。

6 ココロヨい風が吹く。

問二 次の1~3の()に漢字を一字入れて四字熟語を完成させよ。また意味を後のア~エからそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア 言葉に言い表せないほどひどいこと。 臨機 ()変

2 意()投合

3 () 語道断

イ お互いの気持ちや考えがぴったり合っていること。

ウ 気持ちが通じ合い、何も言わなくても伝わること。 エ その場に応じて、適切な対応をすること。

1 () に入れても痛くない →かわいくて仕方ない。

問三 次の1~3の()に後の意味に合うように漢字を一字入れて慣用句を完成させよ。

3 ()にどろを塗る →人に恥をかかせる。

2 ()を売る →むだ話などで時間をつぶしてなまける。

次の1~3の主語をそのままの形で答えよ。ただし文中にないものは解答らんに「なし」と書くこと。

問四

1 大きくて りっぱな 野菜が たくさん 収穫できた。

2 離島に 住む 祖父母も 遊びに 来てくれた。

3 昨年は 学校の 行事で 首里城に 行った。

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。答えは解答用紙に楷書で丁寧に記入せよ。なお、指示された表記方法以外で解答した場合は

採点されないため注意せよ。

き方を考えることを求めるものでした。 その一瞬 前まで誰もこんなことが起きようとは思ってもいなかったのです。 二〇一一年三月一一日の大地震と津波、それによって引き起こされた。東京電力福島第一原子力発電所の事故は、日本列島に暮らす者としての生*1

(日町

になるかはわかりませんし、すでに病気にかかってしまった人には、確率は役に立ちません。ここが、学問が日常と接点を持つことの難しさです。 精度最高のデータを用いての確率計算ですが、一方、被害に遭った人たちにとっては、地震発生は百パーセント起こってしまった出来事です。こせにと けれども、だから学問は無意味ということではなく、この違いをわかったうえで学問を生かしていかなければならないのだと、震災後さまざまな 地震直後は何も情報がないので専門家も私たちと変わりません。地震がいつどこで起きるかという問いに対して学問ができることは、得られる

やさしいところをとり出して扱っているとも言えます。それなのに社会の側では、 ついての判断(とくに予測)をここに期待し、科学もまたそれに答えようとしてしまうのです。 よく科学は難しいと言われますが、日常私たちが何気なく接している自然や人間ほど難しいものはないわけで、科学はその中から考えやすい、 A と、自然や人間そのものとも言える地震や病気に

場面で強く感じました

中町)

震災の直後に多くの人の怒りを買ったのは、科学技術者が思わずもらした「想定外」という言葉でした。科学技術によって物づくりをする時に

のです。【 ア 】その結果、自分は普通に振舞っているつもりなのに傲慢になるわけです。それが多くの人を怒らせたのです。【 イ 】 いるのに、特定の数字をきめて計算をしているうちに、人間がすべてを設定できるという気分になり、その数字の中で考えるようになってしまう いう科学技術、 工学の発想があります。さまざまな危険を思い描いている時には、自然がすべて解明されているわけではないことはよくわかって*** けてビルをつくります。そこで、それが壊れるようなことが起きた場合には「想定外」となるわけです。ここには「人間がすべてを制御する」と を想定し、それに対する安全対策をするのは当然です。実際には、計算上の危険に対して、それの何倍かの事態にも耐えうるように、 安全率をか は常に「想定」があります。 🗌 🛈 🗋、ビルを建てる時には、地震や台風などの自然災害、火事や電気系統の故障などの人工災害とさまざまな危険

ないことに出会います。 【 ウ 】自然とはそもそも思いがけないものなのです。 【 ② 】、自然に対して想定はないわけで、ここで想定外と言うこ とは許されません。【エ】 あの災害が思いがけないことであったことは確かです。けれど、自然と向き合っていると、もっと小さなことではありますが、いつも思いがけ

えなくなってしまうのです。 す。科学者、 じとる姿勢だからです。長い間、自然の中で暮らしてきた人間として当然の姿勢です。「想定外」はそれを離れた言葉なのでイヤな感じがしたので を抱いたということを大事にしたいと思います。それは理性では制御できない事柄が起きた時に、自分の側から考えるのでなく自然の大きさを感 科学技術が自然と向き合っていない。 これが 東日本大震災で明らかになった問題点です。「想定外」という言葉に多くの人がどこかイヤな感じ 科学技術者といえども ③ なのですから、常にこの感覚を持ち続けなければならないのに、専門家になるとその中でしかものを考

中略)

□ が制御できるものではなく、もっともっと大きなものであり、私たちはその中にいるのだということを痛感したのです。 東日本大震災の後、 ⑥ |が怒っているんじゃないかしらと友人と話し合いました。科学者らしくないと言われるかもしれませんが、 | ⑥ |は

(中略

年がたち、 原発反対運動が大きなうねりになっていますが、それは今の社会のありようへの問いだと思います。*** ねいに考えず、乱暴に社会の役に立つ(しかもそれはお金につながる)という言葉ですませてきたのは間違っていたことがはっきりしました。二 対して多くの人が不信感を示し、それは日を追って強くなっていきました。科学・科学技術・科学者・技術者とは何なのだろうということをてい 今回の原発事故でも明らかになったように、現代社会での科学技術のありようには大きな問題があります。事故について語る科学者や技術者に

の中にあることをいつも考えるようにすることです。 者としてやるべきこととして見つけた答です。この問い直しで最も大事なのは、科学者、科学技術者が特別な人ではなく、人間であること、自然 ん。| ③ |、科学が生まれ、そこから開発された科学技術によって進歩を続けてきた近代を問い直さなければなりません。それが、私がいま科学 ここで、科学の中にいる者としては、ある一つの技術に反対を唱えるか否かでなく、この問いが生まれたところを探しにいかなければなりませ

中村桂子『科学者が人間であること』(岩波新書)より一部抜粋 ※問題作成の都合上、 一部改変

語注

- * 1 東京電力福島第一原子力発電所:福島県にある原子力発電所 東日本大震災で事故を起こし廃止された
- *2 ゲノム…DNAのすべての遺伝情報のこと
- *3 安全率…計算して得られた安全である確率
- *4 工学…科学を工業生産に応用する学問
- *5 東日本大震災…二〇一一年三月十一日に東北地方を中心に起きた大きな地震
- *6 原発反対運動…原子力発電に反対する運動

関西よりも関東の方が地震が起こる可能性が高かったが、阪神淡路大震災が起きた。

1 男女の出生確率は大体半々のはずだが、うちは四人姉妹で男の兄弟はいない。

ウ 日本人男性が一生のうちでがんにかかる可能性は六十三パーセントだが、祖父の男兄弟三人ともがんにかからなかった。

天気予報の降水確率は一ミリ以上の雨が降る確率なので、ゼロパーセントの予報でも小雨は降る。

問 に入る語句として最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えよ。

科学は進歩しているのに答を出すのは難しい

科学は進歩しているのだから答を出してくれるはず

ゥ 人間は進歩しているのだから科学に頼らずにすむはず

人間は進歩しているのに科学は答を出してくれない

工

① | 〜 ③ | に入る語を次のア〜オから選び、それぞれ記号で答えよ。 だから イ つまり ウ そして エ けれども オ たとえば

問三

問四 **傍線部②「傲慢になる」とは、思い上がった態度をとることであるが、その理由を説明した次の文の空らんをうめよ。ただし、本文中から**

い は六字、 ろ は三字、 は は四字で特定せよ。

自然はそもそも| い=六字 |ものであり、学問ができることは| ろ=三字 |を用いた| は=四字 |なのに、人間が自然のすべてを設定できると

考えているから。

問五 次の文は、本文中【ア】~【エ】のどこに入れるのが最も適当か、ア~エの記号で答えよ。

今年も、もう春だと思っていたら、ある日突然雪に見舞われました。

問六 ② ← ③ には、「人間」または「自然」のどちらかが入る。「人間」ならX、「自然」ならYと記号で答えよ。 図1 科学者・技術者の認識、震災後、科学者・技術者の発言は国民から信 頼されているか、出典:24年度版科学技術白書、

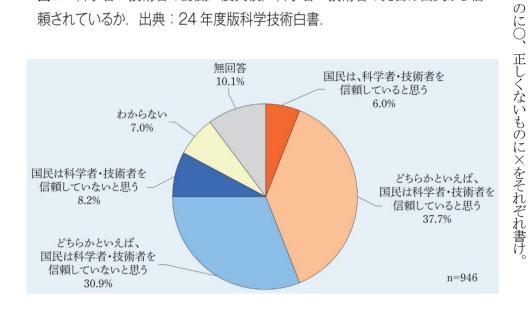
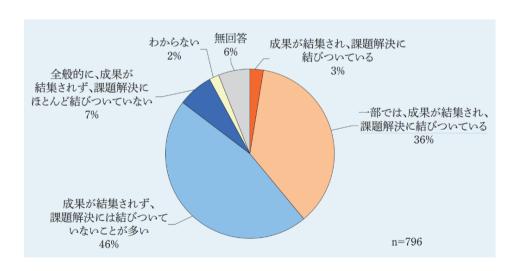


図2 科学者・技術者の認識、研究開発の成果が社会の抱える課題の解決に 結びついているか、 出典:24年度版科学技術白書、



- 1 「国民は科学者を信頼していると思う」人は「どちらかといえば信頼していると思う」人を含めると、「信頼していない」、「どちらかと
- 2 「研究開発の成果が社会が抱える課題の解決に結びついていない」と考えている人は「結びついていないことが多い」と考える人を含
- 3 「国民は科学者・技術者を信頼している」、「科学の成果が課題解決に結びついている」と考えている人はどちらも一〇パーセント未満
- 4 「科学者・技術者の発言は国民から信頼されているか」と「研究開発の成果が課題の解決に結びついているか」のどちらの問いも「わ

問八本文の内容として最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えよ。

からない」「無回答」を合わせて一割以上いる。

しかいない。

めると半数以上だ。

いえば信頼していない」人の合計より少ない。

- 人々は、科学者、科学技術者を信頼せず、自然を制御できるわけではないとあきらめている。
- 地震やそれによる原発事故によって、人々の科学者、科学技術者への不信感は強くなった。
- ゥ 科学者、 科学技術者の努力により技術が進歩すれば、必ず人間は自然を制御できる。
- 工 科学者や科学技術者が社会の役に立つことだけを目指したから、人々からの信頼を失った。

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。答えは解答用紙に楷書で丁寧に記入せよ。なお、指示された表記方法以外で解答した場合は

採点されないため注意せよ。

な」とメールを入れた。 加奈太に確認しようとするが、家には加奈太はおらず、今日の仕事の調整をし、「学校で落ち合おう。二時までには着いている。三者面談よろしく て過ごしている。ある日の朝、 を思い知らされている日々だ。仕事と最低限の家事をやるだけで一日はあっという間に過ぎていき、休みの日は身体を休めるために、ほとんど寝 桐山征人は、十四歳の息子、加奈太と二人暮らし。加奈太が小学校六年生のときに離婚した。妻がいなくなってから、どれほど頼っていたのか。『『『やままきと 起きてリビングのテーブルの上に「三者面談」のプリントが一枚置いてあることに気づく。日付は今日。あわてて

「桐山さん、どうぞ」

なかから先生の声がしたので、腰を上げた。

担任の先生は、三十代前半の数学担当の男性教諭で、会うのは春先に家庭訪問があって以来だ。若々しく、エネルギーに満ち溢れているように

見える。

「よっ」

今出て行った男子生徒と同じ調子で先生が言い、加奈太が軽く手を上げる。征人は深々と頭を下げた。

「さて、いきなり恐縮ですが、まずは成績のお話からよろしいでしょうか」

はい

加奈太はあらぬほうを見て、とぼけた顔で口をとがらせている。

「テストだけで判断するのはどうかと思うのですが、一応の目安として大事だと思いますので」

ーはい

「タントウチョクニュウに申します。数学、国語、英語。急降下です」

「は?」

加奈太はにやにやと笑っている。

「おい、笑い事じゃないだろ」

見せられたグラフは、主要三教科すべてが二十パーセントに満たない数字になっている。

「おい、なんだよ、これは……」

「一年生のときの成績がとてもよく順調だったので、ちょっとびっくりしています」

思わず頭を下げてしまう。

「なにか心配事でもあるのかなー。加奈太くん」

きっと仲がいいのだろう。先生が加奈太に向かって、おどけた調子で声をかける。

「べつにー。頭が悪くなっただけっすよ」

加奈太は悪びれる様子もなく、今にも口笛を吹き出しそうな余裕顔だ。

「がんばっていたサッカー部もやめちゃったしなあ……」

「え! お前、辞めたのか! サッカー部!!」

- 10 -

先生が目を A て、征人を見る。

「……おい、加奈太。サッカー部辞めたこと、お父さんに行ってなかったのか。言わなきゃいけないだろう」

先生の、少なからず傷ついたような顔を見て、征人はなんとも言えない気持ちになった。

「おれたち、父子関係、薄れていますから!」

加奈太が笑い、妙な空気が漂う。

「ご家庭では、どのような様子ですか」

「はあ……、ええっと、まあ、変わりない感じでしょうか」

改めて聞かれると、なんと答えていいのかわからない。息子の日々の様子など、ほとんど知らなかった。食事をして、学校に行っているだけで

よしとしていた。

「ご自宅では、あまり息子さんとお話されることはありませんかね」

「はあ……」

曖昧にうなづくと、先生はまた傷ついたような顔をした。

「すみません」

「いえいえ、そんな。ぼくに謝る必要なんてないですよ。まあ、なかなか難しい年頃ですし……」

「そうつすよ、先生。十四歳ですよ、反抗期真っ只中の中二病っすよ」

自嘲気味に加奈太が笑う。先生の視線が征人に戻り、思わず目を B

「夏休みはなにか予定あるのかな」

しいアドバイスがあったものの、不毛な三者面談は終了になった。 気を取り直して先生が言うも、なーんもないっす、という加奈太の言葉で、さらにしらけた雰囲気となり、その後も先生からの一方通行のやさ

(中略)

三者面談を終えた日の夜、自宅で征人が作ったしょうが焼きを食べている。

「お前、サッカー部やめたんだな。知らなかったよ」

「聞かれないし」

「じゃあ、夏休みは練習なしか」

「ごちそうさま」

冷蔵庫からコーラを出して、立ったままごくごくと飲んでいる。

「てかさ」

「ん?」

くらいわかんないわけ?」

ほとんど毎日弁当持ちだったじゃん。なのに、夏休みは弁当いらないって言ったわけだろ。そこまでのヒントがあって、どうして部活辞めたこと 「てかさー。おれの帰り時間、とっくに早かったでしょ。部活やってるときは毎日八時過ぎてたじゃん。夏休みだって、去年は練習あったから、

- 12 -

返す言葉がすぐに出てこない。言われてみればその通りだ。

「・・・・・ごめん」

「それでも親かよ」

「悪かった」

「謝ればいいと思ってるんじゃねえよ」

言葉遣いの悪さと、怒りをはらんだ声音に、こちらもついにムキになりそうになったが、思いがけぬことに、加奈太は今にも泣きそうな顔をし

てした

征人は、今ここにいる息子が、「十四歳の少年」だと改めて気付く。 愚かで 純 粋 で不器用で、常に怒りに満ちていて、自分だけの小さな正義の

なかだけで生き、傷つけられることに敏感で、世の中の何者を味方につけられない、矛盾だらけの十四歳なのだ。

「夏休み、どこか行かないか?」

加奈太の額にニキビが三つできていた。ついこの間まで、つるんとした陶器のような肌をしていたというのに。

「そうだ!おばあちゃんの家へ行こう。どうだ?ひさしぶりだろ」

加奈太の顔を見て、思いつきでそんな提案をしてしまったが、いざ行くとなるとためらいがあった。妻とのあれこれがあって以来、実家には顔

を出していない。

「仕事いいのかよ」

加奈太の昂ぶりが収まったように見えた。

「仕事なんてどこに行ってもできる」

た。

椰月美智子 『 14 歳の水平線』(双葉文庫)より一部抜粋 ※問題作成の都合上、一部改変 】

傍線部⊕「とぼけた顔で口をとがらせている」とあるが、この時の加奈太の様子として最も適当なものを次のア~エから選び、記号で答え

間一

ょ

今から先生の話す内容の見当がついているので、先生に反論しようとしている様子。

今から先生の話すことは父親に怒られる内容なので、その場をなごませようとしている様子。

ゥ 先生から話される内容に見当がつかずイライラし、納得がいっていない様子。

工 先生から話される内容が分かっていたので、平然とその場をやりすごそうとしている様子。

傍線部②「タントウチョクニュウ」を漢字に直せ。また、その意味として最も適当なものを次のア~エから選び、記号で答えよ。

ある問題を簡単に伝えること。

問二

1 遠回しに問題の要点に入ること。

ゥ 直接問題の要点に入ること。

工 問題の要点を堂々と伝えること。

問三 Α B |に入ることばとして最も適当なものを次のアーエからそれぞれ選び、記号で答えよ。

A

アこらし В イ ほそめ ウ まるくし 工

くらませ

アうたがう

イそらす

ウ まわす

エ

つぶる

問四 **傍線部③「妙な空気が漂う」について後の問いに答えよ。**

1 この状況の説明として最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えよ。

加奈太がサッカーを辞めたことを征人に話してないことに、先生が征人を気遣う言葉をかけたため征人が落ち込んだ状況。

加奈太が学校生活の都合が悪い話をされ、それを必死にごまかそうと、おどけた態度をとったためその場がなごんだ状況。

ゥ 加奈太の成績が落ちたことやサッカーを辞めたことなどを征人が聞き、驚いている様子を加奈太が楽しんでいる状況。

2 工 「妙な空気」のほかに三者面談の様子がわかる言葉を七字で特定し、抜き出して答えよ。 加奈太の学校生活の様子のことを全然知らない征人に対して、加奈太が笑ったことで周囲が言葉を失った状況。

問五 傍線部④「先生はまた傷ついたような顔をした」とあるが、征人のどのような点に関係しているか。それが分かる一文を二十二字で特定し

最初と最後の三字を答えよ。(ただし、句読点も含む)

問六 傍線部⑤「返す言葉がすぐに出てこない」とあるが、その理由として最も適当なものを次のア~エから選び、 記号で答えよ。

- 加奈太が言っている内容を理解できず、親としてどのように返事していいかわからないから。
- 1 加奈太の帰り時間が早くなったことに気づいてあげられず、親として恥ずかしくなったから。
- ゥ 加奈太の帰り時間や弁当の変化に何も察することができていなかったことを責められたから。
- 工 加奈太に帰り時間や弁当のことを言われ、その変化が何を意味するか理解できなかったから。

傍線部⑥「謝ればいいと思ってるんじゃねえよ」とあるがこの時の加奈太の征人への気持ちとして**あてはまらないもの**を次のア~エから一

つ選び、記号で答えよ。

問七

あきらめ イ 怒り ウ 寂しさ 工 不満

問八 傍線部で「加奈太の顔~いうのに。」について、後の問いに答えよ。

ここに使用されている表現技法を次のア〜エから二つ選び、記号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

対った ウ 倒 置 ち 工

2 この時の征人の心情として最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えよ。

ニキビができる年頃になっているのに子どもっぽいことをいう加奈太にあきれている。

ニキビができる年頃になっていることに成長を感じ、心から喜びを感じている。

ゥ ニキビができる年頃になって反抗的な態度をとる加奈太に嫌気がさしている。

工 ニキビができる年頃になっていることに気づき、加奈太の言動に納得ができた。

問九 **傍線部®「加奈太の昂ぶりが収まったように見えた」とあるが、そう見えた征人の心情を説明した次の文の空らんをうめよ。ただし、**

い は二字、 ろ は九字で本文中から特定し、 は は最も適当なものをアーエから選び、記号で答えよ。

そんな ろ=九字 の息子を見て夏休みの提案をした。 加奈太は自分の状況や気持ちを分かっていない征人に対して| い=二字 |をあらわにした態度をとっているが、顔は泣きそうである。征人は |加奈太の昂ぶりが収まったように見えた。

征人に対して言いたいことを伝えられたから 1 征人の提案が自分の想いと一致したから

は

征人と話しても意味がないと感じたから 工

ゥ

自分の反抗的な態度にも征人が優しく接したから

問十 「征人」「加奈太」の人物像について話している内容として正しいものに〇、正しくないものに×をそれぞれ書け。

思春期の加奈太とその対応にとまどっている父親の征人の様子が書かれているね。 征人は離婚したことで加奈太に迷惑をかけている

から、加奈太に一生懸命関わり、学校生活のサポートをしているね。征人は父親として完ぺきだね。

Xさん 難しい年頃の加奈太は、三者面談のことを直接伝えることができないくらい征人に遠りょしているよ。三者面談でも征人に迷惑をか

けたくないからわざと「中二病っす」と話しているんだよ。普段から父親のことを大事に想っていることが伝わるね。

征人は普段は仕事と家事をこなすことで精いっぱいで加奈太の学校生活の様子に気づいてあげられなかったけれど、三者面談をきっ

Yさん

かけに加奈太と向き合っているよね。その中で、加奈太の気持ちに気づき、受け入れようとしている姿があるね。

成績が下がったことや部活動を辞めたことを征人に相談できなかった加奈太だけど、その気持ちよくわかるなあ。思春期の頃って自 分の状況を受け入れたり素直な気持ちを伝えたりできないモヤモヤとした感情が反抗的な態度になっているんだよね。